


労働力調査（詳細集計）

平成28年(2016年)4～6月期平均（速報）

役員を除く雇用者	2
1 雇用形態	
2 現職の雇用形態（非正規の職員・従業員）について主な理由	
完全失業者	4
1 仕事につけない理由	
2 失業期間	
3 前職の雇用形態（過去1年間に離職した者）	
非労働力人口	6
1 就業希望の有無	
2 就業希望者	
統計表	8

労働力調査の集計区分

労働力調査には次の集計区分があり、本冊子には、 部分の結果を収録している。

《基本集計》・・・基礎調査票から集計される事項について公表

[主な集計事項] 労働力人口，就業者数・雇用者数(産業別・雇用形態別など)，
就業時間，完全失業者数(求職理由別など)，完全失業率，
非労働力人口など

《詳細集計》・・・主として特定調査票から集計される事項について公表

[主な集計事項] 非正規の職員・従業員が現職の雇用形態について理由，
転職等希望の有無，仕事につけない理由，
失業期間，就業希望の有無など

詳細集計では，刑務所・拘置所等のある区域及び自衛隊区域の施設内の居住者を除いている。また，詳細集計では，基本集計の約4分の1の世帯が対象となっていることなどから，基本集計とは数値は必ずしも一致しない。

平成28年8月9日
総務省統計局

労働力調査（詳細集計）

役員を除く雇用者

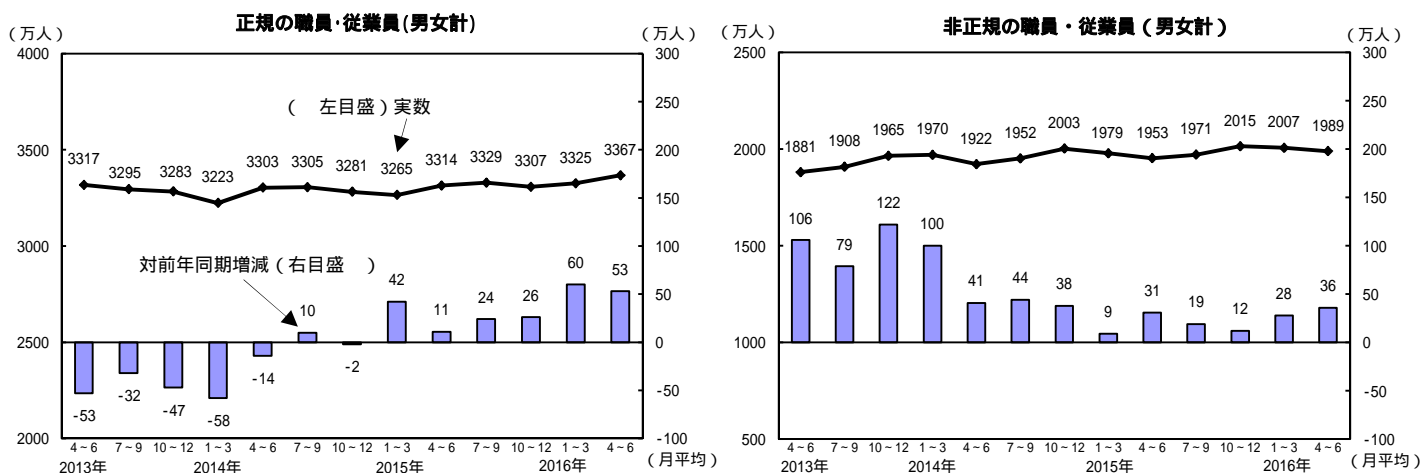
1 雇用形態

- ・ 正規の職員・従業員は3367万人と、前年同期に比べ53万人の増加。6期連続の増加。
- ・ 非正規の職員・従業員は1989万人と、36万人の増加。14期連続の増加
- ・ 役員を除く雇用者に占める非正規の職員・従業員の割合は37.1%と、前年同期と同率

表1，図1 雇用形態別役員を除く雇用者の推移

		2016年 4～6月	対前年同期増減（万人，ポイント）					
			2016年		2015年			
			4～6月	1～3月	10～12月	7～9月	4～6月	
男女計	実数 （万人）	役員を除く雇用者	5356	89	87	37	44	41
		正規の職員・従業員	3367	53	60	26	24	11
		非正規の職員・従業員	1989	36	28	12	19	31
		パート・アルバイト	1366	30	35	34	16	16
		労働者派遣事業所の派遣社員	131	12	12	4	17	6
		契約社員	288	1	-9	-13	-8	-1
		嘱託	126	3	1	-7	-1	8
		その他	78	-9	-12	-7	-5	1
割合（％）	非正規の職員・従業員	37.1	0.0	-0.1	0.0	0.1	0.3	
男	実数 （万人）	役員を除く雇用者	2928	42	24	11	5	0
		正規の職員・従業員	2285	26	18	11	3	-12
		非正規の職員・従業員	643	16	7	-1	2	13
女	実数 （万人）	役員を除く雇用者	2428	47	61	27	39	41
		正規の職員・従業員	1081	26	40	15	21	23
		非正規の職員・従業員	1347	21	21	13	18	18

注) 「非正規の職員・従業員」の割合は、「正規の職員・従業員」と「非正規の職員・従業員」の合計に占める割合を示す。



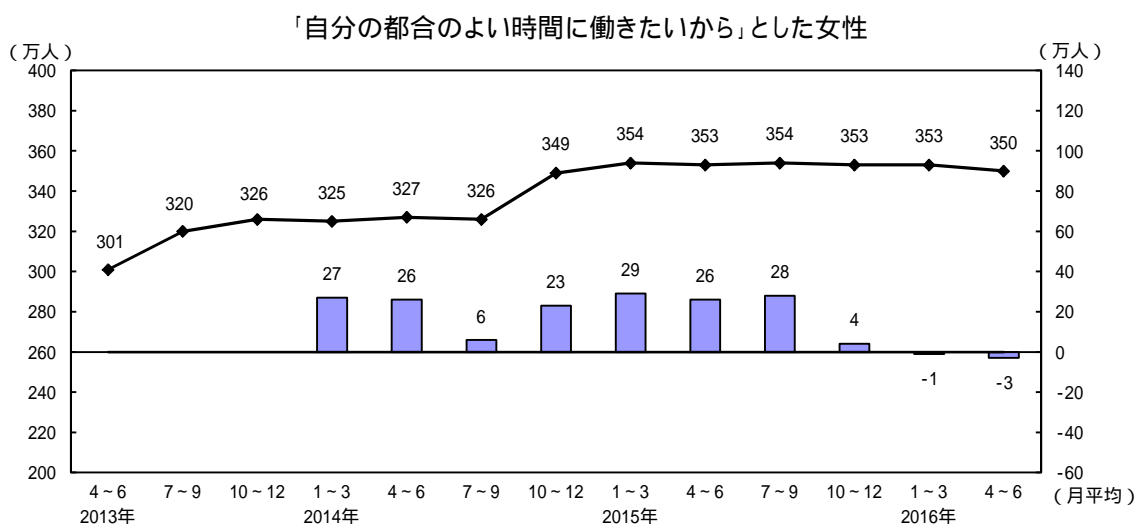
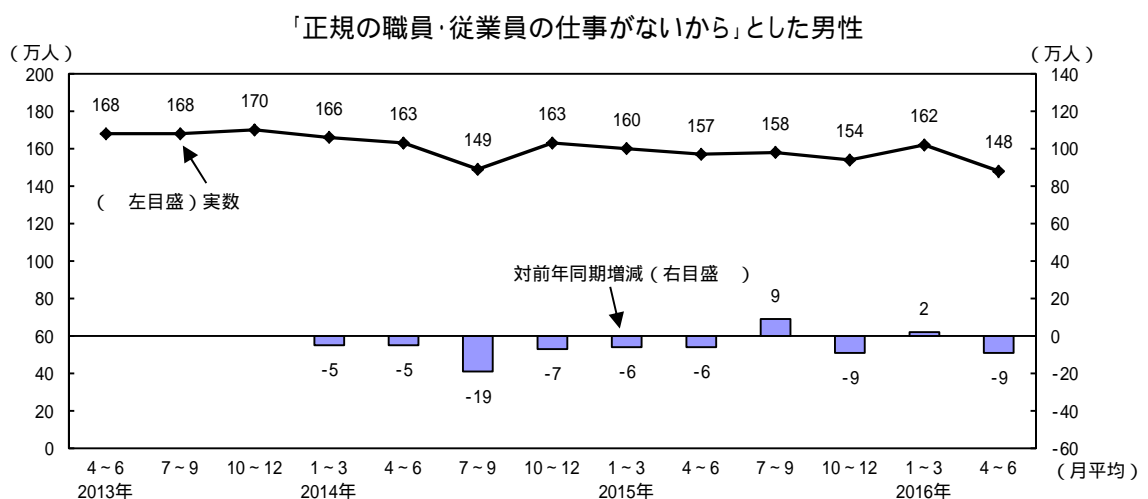
2 現職の雇用形態(非正規の職員・従業員)について主な理由

- ・男性の非正規の職員・従業員(643万人)のうち、現職の雇用形態について主な理由を「正規の職員・従業員の仕事がないから」とした者が148万人(25.3%)と、前年同期に比べ9万人の減少
- ・女性の非正規の職員・従業員(1347万人)のうち、現職の雇用形態について主な理由を「自分の都合のよい時間に働きたいから」とした者が350万人(27.4%)と、前年同期に比べ3万人の減少

表2, 図2 現職の雇用形態について主な理由別非正規の職員・従業員の内訳(2016年4~6月期平均)及び推移 (万人, %)

	男女計			男			女		
	実数	対前年同期増減	割合	実数	対前年同期増減	割合	実数	対前年同期増減	割合
非正規の職員・従業員	1989	36	-	643	16	-	1347	21	-
自分の都合のよい時間に働きたいから	490	-1	26.3	140	2	23.9	350	-3	27.4
家計の補助・学費等を得たいから	408	25	21.9	80	11	13.7	328	14	25.7
家事・育児・介護等と両立しやすいから	220	7	11.8	4	-1	0.7	215	8	16.8
通勤時間が短いから	70	2	3.8	18	0	3.1	52	2	4.1
専門的な技能等をいかせるから	144	-6	7.7	71	-6	12.1	73	0	5.7
正規の職員・従業員の仕事がないから	299	-14	16.0	148	-9	25.3	152	-5	11.9
その他	232	5	12.5	124	6	21.2	108	-1	8.5

注) 1. 非正規の職員・従業員には、「現職の雇用形態について主な理由不詳」を含む。



注) 現職の雇用形態について主な理由に係る項目については、調査票の変更に伴い、2013年1~3月期から集計を開始した。そのため、対前年(同期)増減の算出は2014年1~3月期以降となる。

完全失業者

1 仕事につけない理由

- ・完全失業者（217万人，前年同期に比べ10万人の減少）のうち，
「希望する種類・内容の仕事がない」は61万人と，前年同期に比べ6万人の減少。
「条件にこだわらないが仕事がない」は15万人と，1万人の増加

表3 仕事につけない理由別完全失業者の推移

(万人)

	2016年 4～6月	対前年同期増減				
		2016年		2015年		
		4～6月	1～3月	10～12月	7～9月	4～6月
完全失業者	217	-10	-15	-13	-14	-20
賃金・給料が希望とあわない	19	6	0	4	0	-5
勤務時間・休日などが希望とあわない	24	-3	2	2	-2	-2
求人との年齢と自分の年齢とがあわない	30	-5	-1	-4	-5	-5
自分の技術や技能が求人要件に満たない	17	0	-3	-3	1	-3
希望する種類・内容の仕事がない	61	-6	-7	-9	-10	-7
条件にこだわらないが仕事がない	15	1	-2	4	4	-4
その他	48	-3	-5	-7	-2	6

注) 完全失業者には，「仕事につけない理由不詳」を含む。

2 失業期間

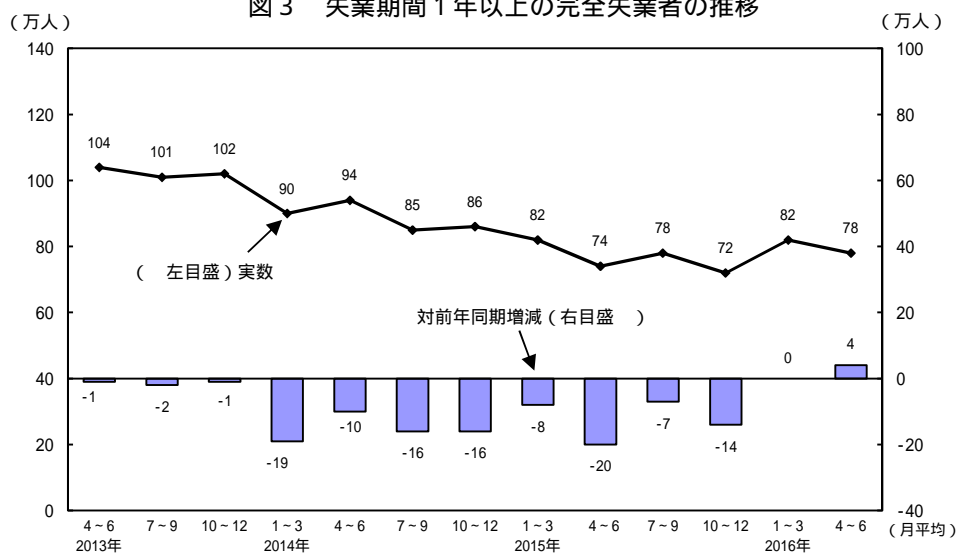
- ・完全失業者（217万人）のうち，
「3か月未満」が81万人と，前年同期に比べ3万人の減少。
「3か月以上」が126万人と，10万人の減少。このうち「1年以上」は78万人と，4万人の増加

表4 失業期間別完全失業者の推移

	2016年 4～6月	対前年同期増減(万人，ポイント)					
		2016年		2015年			
		4～6月	1～3月	10～12月	7～9月	4～6月	
実数 (万人)	3か月未満	81	-3	-12	-6	-4	2
	3か月以上	126	-10	-5	-7	-11	-22
	3～6か月未満	23	-8	0	-1	2	0
	6か月～1年未満	26	-5	-4	8	-6	-3
	1年以上	78	4	0	-14	-7	-20
割合(%)	1年以上	37.7	4.1	3.1	-4.4	-0.7	-5.6

注) 割合は，「3か月未満」と「3か月以上」の合計に占める割合を示す。

図3 失業期間1年以上の完全失業者の推移

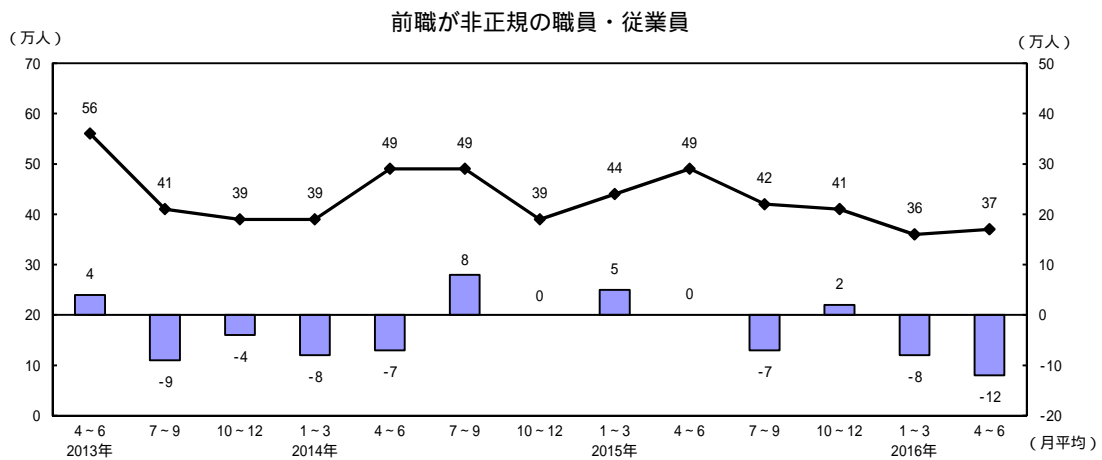
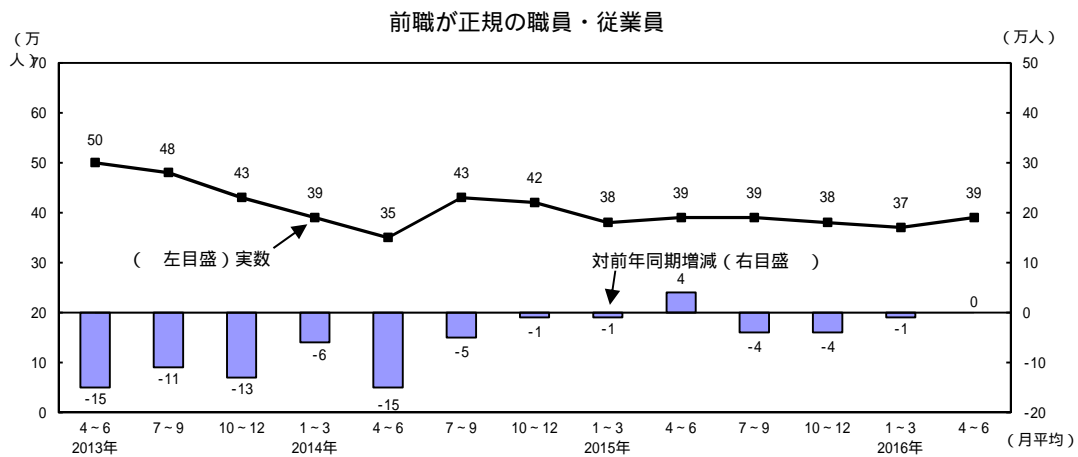


3 前職の雇用形態(過去1年間に離職した者)

- 完全失業者(217万人)のうち過去1年間に離職した者(求職理由が「仕事を辞めたため」)は80万人と、前年同期に比べ10万人の減少。
このうち前職の雇用形態が「正規の職員・従業員」であった者は39万人と、前年同期と同数。
「非正規の職員・従業員」であった者は37万人と、12万人の減少

表5, 図4 完全失業者における前職の雇用形態別過去1年間に離職した者の推移

	2016年 4～6月	対前年同期増減					
		2016年		2015年			
		4～6月	1～3月	10～12月	7～9月	4～6月	
完全失業者	217	-10	-15	-13	-14	-20	
うち 前職あり	197	-13	-9	-11	-12	-16	
うち 仕事を辞めたため求職	147	-15	-9	-7	-16	-2	
うち 過去1年間に離職	80	-10	-9	-1	-11	4	
うち 役員を除く雇用者	76	-13	-8	-3	-11	5	
前職の雇用形態	正規の職員・従業員	39	0	-1	-4	-4	4
	非正規の職員・従業員	37	-12	-8	2	-7	0
	パート・アルバイト	21	-10	-2	0	-5	3
	労働者派遣事業所の派遣社員	4	-3	-1	1	0	2
	契約社員・嘱託	10	2	-6	2	-1	-8
	その他	1	-1	1	0	-1	2



非労働力人口

1 就業希望の有無

- ・非労働力人口（4401万人、前年同期に比べ47万人の減少）のうち、
就業希望者（就業は希望しているものの、求職活動をしていない者）は378万人と、
前年同期に比べ56万人の減少。
就業非希望者（就業を希望していない者）は3944万人と、15万人の増加。このうち
「65歳以上」は2601万人と、39万人の増加

表6 就業希望の有無，非求職理由別非労働力人口（2016年4～6月期平均）

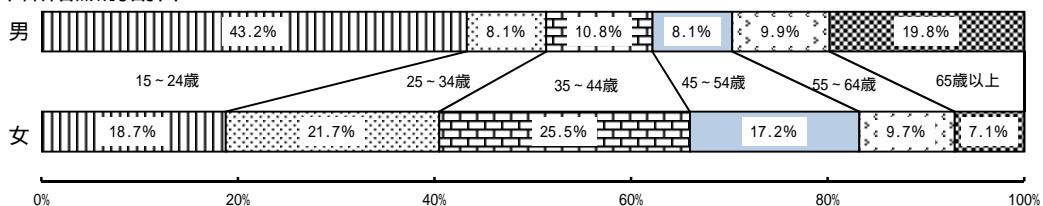
	男女計		男		女	
	実数	対前年同期増減	実数	対前年同期増減	実数	対前年同期増減
非労働力人口	4401	-47	1559	-12	2843	-34
就業希望者	378	-56	111	-16	267	-41
適当な仕事がありそうにない（以下5項目の合計）	109	-22	35	-7	74	-15
近くに仕事がありそうにない	18	-6	6	-1	11	-7
自分の知識・能力にあう仕事がありそうにない	16	-3	8	0	8	-3
勤務時間・賃金などが希望にあう仕事がありそうにない	46	-17	9	-5	38	-12
今の景気や季節では仕事がありそうにない	4	2	2	0	2	2
その他	25	3	11	-1	14	4
出産・育児のため	80	-20	-	-	80	-20
介護・看護のため	17	-3	4	1	13	-4
健康上の理由のため	65	-4	26	-7	39	3
その他	87	-3	37	1	50	-4
就業内定者	77	-5	32	-6	45	1
就業非希望者	3944	15	1415	9	2529	6
うち65歳以上	2601	39	988	17	1613	22

注) 非労働力人口には、「就業希望の有無不詳」を含む。

表7，図5 男女，年齢階級別就業希望者の内訳（2016年4～6月期平均）

	男女計		男		女	
	実数	対前年同期増減	実数	対前年同期増減	実数	対前年同期増減
総数	378	-56	111	-16	267	-41
15～24歳	97	-16	48	-10	50	-5
25～34歳	67	-17	9	-3	58	-14
35～44歳	80	-18	12	0	68	-18
45～54歳	55	5	9	0	46	5
55～64歳	37	-12	11	-4	26	-8
65歳以上	41	0	22	1	19	-1

年齢階級別割合

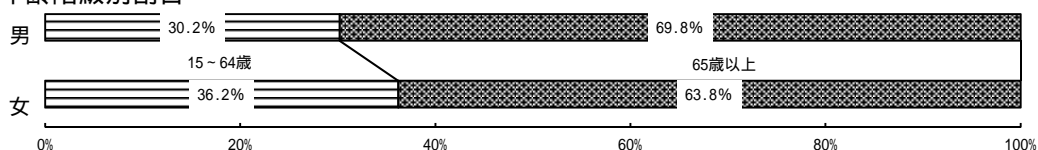


注) 割合は、年齢階級別内訳の合計に占める割合を示す。

表8，図6 男女，年齢階級別就業非希望者の内訳（2016年4～6月期平均）

	男女計		男		女	
	実数	対前年同期増減	実数	対前年同期増減	実数	対前年同期増減
総数	3944	15	1415	9	2529	6
15～64歳	1345	-21	428	-7	915	-16
65歳以上	2601	39	988	17	1613	22

年齢階級別割合



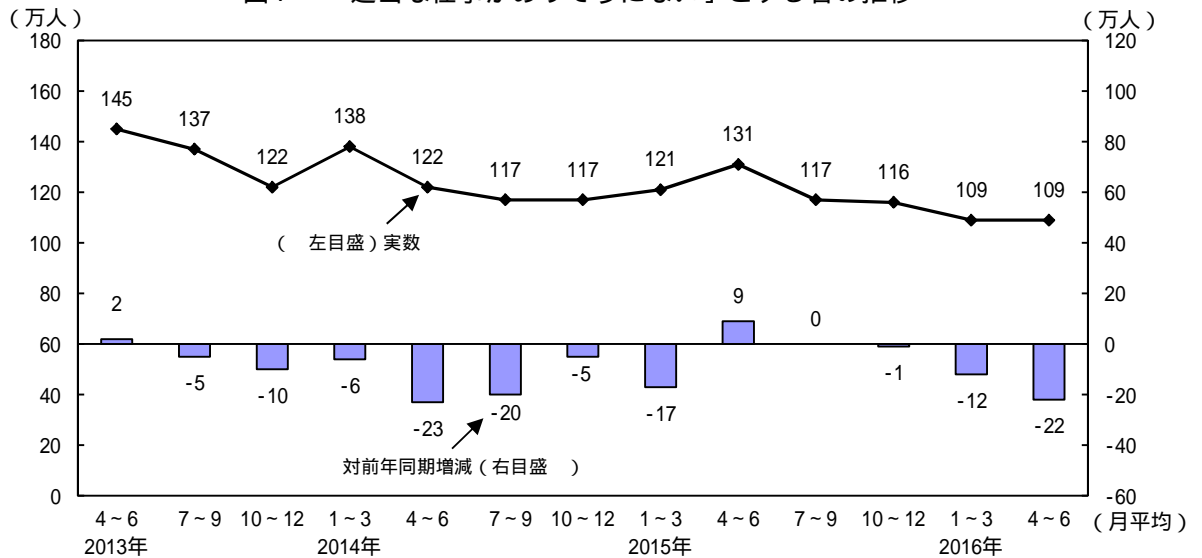
注) 割合は、年齢階級別内訳の合計に占める割合を示す。

2 就業希望者

(1) 求職活動をしていない理由(非求職理由)

- ・就業希望者(378万人)のうち、
 「適当な仕事がありそうにない」とする者は109万人と、前年同期に比べ22万人の減少。このうち
 「勤務時間・賃金などが希望にあう仕事がありそうにない」とする者が46万人と、17万人の減少。
 「近くに仕事がありそうにない」とする者が18万人と、6万人の減少。
 「出産・育児のため」とする者は80万人と、20万人の減少

図7 「適当な仕事がありそうにない」とする者の推移



(2) 過去1年間に求職活動をしたことがある者

- ・「適当な仕事がありそうにない」とする者(109万人)のうち「仕事があればすぐつける」とする者は41万人と、前年同期に比べ7万人の減少。このうち「調査期間中は求職活動をしていなかったが、過去1年間に求職活動をしたことがある」とする者は26万人と、9万人の減少

表9 非労働力人口における就業希望者の推移

	2016年 4~6月	対前年同期増減 (万人)				
		2016年		2015年		
		4~6月	1~3月	10~12月	7~9月	4~6月
非労働力人口	4401	-47	-29	-15	-20	2
うち 就業希望者	378	-56	-9	-14	-2	23
うち 求職活動をしていなかったのは 「適当な仕事がありそうにない」ためである者	109	-22	-12	-1	0	9
うち 仕事があればすぐつくことができる者	41	-7	-10	5	-4	6
うち 調査期間中は求職活動をしていなかったが、 過去1年間に求職活動をしたことがある者	26	-9	-7	1	-2	7